

科目コード	記号	科 目 名		
2555	BS50	財務諸表論:Principal of Financial Charts		
教 員 名		田川 晋也:TAGAWA Shinya		
学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別
5B	2・100分	選択	後期・講義	学修単位
授業概要	本講義では企業が提供する財務諸表を株主や債権者がどのように分析し利用しているかについて説明する。まず、企業の経営戦略分析を行い利益決定要因と事業リスクを明らかにする。次に、会計分析により会計上の数値の歪みの程度を評価する。以上の手続きを踏んだ後に財務数値から比率分析等の財務分析を行う。最後に、財務分析までの結果を手がかりとして企業評価を行う。以上の手続きを講義で説明する。			
	到達目標		評価方法	
1. 財務諸表から財務指標を算定できる。 2. 算定した財務指標を用いて企業間比較、年次比較を行い、指標の変動から企業の状況の変化を読み取ることができる。 3. 企業分析を基礎として企業価値評価ができる。		評価方法は、①中間試験40%、②期末試験40%、③レポート20%とする。		
学習・教育目標		(c)①	JABEE基準1(1)	(d)ー(4)
後 期				
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	イントロダクション	財務分析のフレームワーク	
	第2	財務分析の準備①	経営戦略分析	
	第3	財務分析の準備②	会計分析	
	第4	収益性分析	ROA、ROE、売上高利益率などの算定	
	第5	効率性分析	総資本回転率、棚卸資産回転率などの算定	
	第6	安全性分析	流動比率、当座比率、固定比率などの算定	
	第7	生産性分析	労働生産性、付加価値率などの算定	
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する	
	第9	成長性分析	売上高成長率、自己資本成長率などの算定	
	第10	キャッシュフロー分析	キャッシュフロー計算書から指標の算定	
	第11	指標の統合	サステイナブル成長率の算定	
	第12	企業評価①	将来予測、割引配当モデル	
	第13	企業評価②	オールソン・モデル	
	第14	企業評価③	ターミナル・バリューの算定	
第15	まとめ	全体の学習のまとめを行う。また、授業評価アンケートを行う。		
関連科目		会計学原理		
教 科 書		エクセルでわかる企業分析・決算書(松村勝弘・松本敏史・東京書籍)		
参 考 書		企業分析入門(バレブ著、斉藤静樹監訳・東京大学出版会)		
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。		
副担当教員				
備 考		必要に応じてプリント教材を配布する。		